

# 平成 20 年度第 2 回長崎県登録販売者試験問題

## 《 午 後 の 部 》

問 6 1 ~ 問 1 0 0      主な医薬品とその作用

問 1 0 1 ~ 問 1 2 0      薬事関係法規・制度

### < 注意事項 >

- 1 . 試験時間は、1 3 時 3 0 分から 1 5 時 3 0 分までの 2 時間です。
- 2 . 必ず解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
- 3 . 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 . 退室は 1 4 時 3 0 分までできません。1 4 時 3 0 分以降退室するときは、必ず解答用紙は裏返しにして机の上に置き、荷物を持って退室してください。問題用紙は持ち帰ってもかまいません。
- 5 . 印刷等の文字が不鮮明なときは、黙って手をあげてください。ただし、試験問題の内容についての質問には一切応じられません。
- 6 . 計算機の使用はできません。
- 7 . 試験監督者の指示に従ってください。

| 受 験 番 号 | 氏 名 |
|---------|-----|
|         |     |

## 【主な医薬品とその作用】

この試験問題においての「薬事法」は、薬事法の一部を改正する法律（平成18年法律第69号）による改正後の薬事法とします。

### 問61

以下の医薬品成分のうち、鶏卵アレルギーがある人では使用を避ける必要があるものとして正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 アスピリン
- 2 エテンザミド
- 3 塩化リゾチーム
- 4 アスコルビン酸
- 5 トラネキサム酸

### 問62

漢方処方製剤に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア かっこんとう 葛根湯は、かぜのひき始めにおける諸症状、頭痛、肩こり、筋肉痛、手足や肩の痛みに適する。
- イ まおうとう 麻黄湯は、かぜのひき始めから数日たって症状が少し長引いている状態で、疲労感があり、食欲不振、吐き気がする場合に適する。
- ウ しょうさいことう 小柴胡湯は、かぜのひき始めで、寒気がして発熱、頭痛があり、体のふしぶしが痛い場合に適する。
- エ しょうせいりゅうとう 小青竜湯は、くしゃみや鼻汁・鼻閉等の鼻炎症状、薄い水様の痰を伴う咳、たん 気管支炎、せき 気管支喘息等の呼吸器症状に適する。

|   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 誤 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |
| 4 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 5 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 6 3

以下の漢方処方製剤のうち、構成生薬としてダイオウを含むものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア おうれんげどくとう 黄連解毒湯  
イ ぼういおうぎとう 防己黄耆湯  
ウ ぼうふうつうしやうさん 防風通聖散  
エ だいさいことう 大柴胡湯

- 1 (ア、イ)    2 (ア、ウ)    3 (イ、エ)    4 (ウ、エ)

### 問 6 4

自分で服用する解熱鎮痛剤を購入しに来た、12歳の女兒への対応に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア イブプロフェンを主成分とする薬を薦めた。  
イ アセトアミノフェンが配合された薬を薦めた。  
ウ アスピリンが配合された薬を薦めた。  
エ サリチルアミドが配合された薬を薦めた。

- |   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |
| 3 | 正 | 正 | 正 | 誤 |
| 4 | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |
| 5 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 6 5

医薬品の成分とその作用に関する以下の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

|   | 医薬品の成分      | 作用          |
|---|-------------|-------------|
| 1 | 塩酸ジフェニドール   | - 抗めまい作用    |
| 2 | ジメンヒドリナート   | - 抗ヒスタミン作用  |
| 3 | 臭化水素酸スコポラミン | - 抗コリン作用    |
| 4 | ブロムワレリル尿素   | - 中枢神経興奮作用  |
| 5 | アミノ安息香酸エチル  | - 胃粘膜への麻酔作用 |

### 問 6 6

以下の漢方処方製剤のうち、大量に摂取すると偽アルドステロン症を発生させるリスクが高いものとして、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 はんげこうぼくとう 半夏厚朴湯
- 2 ばくもんどうとう 麦門冬湯
- 3 ごことう 五虎湯
- 4 しんびとう 神秘湯
- 5 かんぞうとう 甘草湯

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 6 7

胃腸に作用する薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 制酸薬は胃酸の働きを強める。
- 2 健胃薬は胃液の分泌を亢進<sup>こうしん</sup>するが、胃の働きは高めない。
- 3 消化薬は炭水化物、脂質、蛋白質<sup>たん</sup>等の分解に働く酵素を補う等により、胃や腸の内容物の消化を助ける。
- 4 制酸と健胃のように相反する作用が配合されている一般用医薬品はない。

### 問 6 8

以下の医薬品成分のうち、制酸成分として用いられないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 沈降炭酸カルシウム
- 2 ケイ酸マグネシウム
- 3 炭酸水素ナトリウム
- 4 スクラルファート
- 5 合成ヒドロタルサイト

## 【主な医薬品とその作用】

### 問69

胃腸に作用する薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 オウバクは、キンポウゲ科植物の根茎で苦味による健胃作用が期待されている。
- 2 アルミニウムを含む制酸薬は、透析療法を受けている人でも長期連用できる。
- 3 ジメチルポリシロキサンは、消化管内容物中に発生した気泡の分離を促す。
- 4 塩酸ピレンゼピンは、消化管の運動に影響を与え、胃液の分泌を抑える。

### 問70

腸の薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア マレイン酸トリメブチンは、自律神経に働いて消化管の運動を調整する作用があるが、まれに重篤な副作用として肝機能障害を生じることがある。
- イ 急性の激しい下痢又は腹痛、腹部膨満、吐き気等の症状を伴うものには、次没<sup>もっしょくし</sup>食<sup>し</sup>子酸ビスマスなど収斂<sup>れん</sup>成分を主体とする止瀉<sup>しゃ</sup>薬を使用することが望ましい。
- ウ タンニン酸アルブミンに含まれるアルブミンは、牛乳に含まれる蛋白質<sup>たん</sup>（カゼイン）から精製された成分であるため、牛乳にアレルギーのある人では使用を避ける必要がある。
- エ 塩酸ロペラミドは、服用すると成分が乳汁中に移行するため、母乳を与える女性は使用を避けるか、又は授乳を避けることが望ましい。

|   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 誤 |
| 2 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 3 | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 5 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 7 1

塩酸パパペリンの作用に関する以下の記述について、( )の中に入れるべき字句を下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。なお、2ヶ所の( )内はどちらも同じ字句が入ります。

消化管の平滑筋に直接働いて胃腸の痙攣<sup>けいれん</sup>を鎮める作用を示すとされる。( )成分と異なり、胃液分泌を抑える作用は見出されない。また、( )成分と異なり、自律神経系を介した作用ではないが、眼圧を上昇させる作用を示すことが知られている。

- 1 局所麻酔
- 2 抗アドレナリン
- 3 抗コリン
- 4 抗炎症
- 5 抗ヒスタミン

### 問 7 2

強心薬に配合される以下の生薬成分のうち、心筋に直接刺激を与え、その収縮力を高める作用を持たないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ニンジン
- 2 センソ
- 3 ジャコウ
- 4 ゴオウ
- 5 ロクジョウ

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 7 3

コレステロールと高コレステロール改善薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 低密度リポ蛋白質（LDL）は、末梢組織のコレステロールを取り込んで肝臓へと運ぶリポ蛋白質であり、血液中の高密度リポ蛋白質（HDL）が多く、LDLが少ないと動脈硬化や肥満等の生活習慣病のリスクが高くなる。
- 2 コレステロールは生体細胞の構成成分であり、胆汁酸や副腎皮質ホルモン等の生理活性物質の産生に不可欠である。コレステロールの産生及び代謝は主に脾臓で行われる。
- 3 ビタミンE（酢酸トコフェロール）はコレステロールから過酸化脂質の生成を促進し、末梢血管における血行を促進する作用があるため、末梢血行障害の緩和を目的として用いられる。
- 4 大豆油不飽和脂肪酸（ソイステロール）は、末梢組織においてコレステロールの吸収を抑制する働きがあるとされる。

### 問 7 4

以下の医薬品成分のうち、高コレステロール改善成分として、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア パンテチン
- イ リノール酸
- ウ ビオチン
- エ ステアリン酸

- 1（ア、イ）    2（ア、エ）    3（イ、ウ）    4（ウ、エ）



## 【主な医薬品とその作用】

### 問 7 5

貧血症状と貧血用薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 鉄欠乏性貧血の際に鉄製剤と硫酸銅を併用すると、鉄の代謝が阻害されるため、通常硫酸銅は用いられない。
- 2 鉄分は、赤血球が酸素を運搬する上で重要なヘモグロビンの産生に不可欠なミネラルである。
- 3 貧血用薬（鉄製剤）の服用前後30分に、緑茶やコーヒーを摂取しても鉄の吸収に影響を及ぼすことはない。
- 4 貧血の予防のために、症状がみられる以前から鉄製剤を用いるとよい。

### 問 7 6

総合感冒薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 酒類（アルコール）と総合感冒薬の併用は、医薬品成分の吸収や代謝に影響を与えるが、肝機能障害等の副作用は起こらない。
- 2 かぜの時に消耗しやすいビタミンを補給することを目的として、各種ビタミン成分が配合されている場合がある。
- 3 総合感冒薬は、ウイルスの増殖を抑えたり、ウイルスを体内から取り除くものである。
- 4 15歳未満の小児で、インフルエンザにかかっているときは、エテンザミドを含有する総合感冒薬を使用する。

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 7 7

循環器用薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ユビデカレノンは別名コエンザイムQ10とも呼ばれ、血液循環の改善作用を示すため、通常強心薬と併用して用いる。
- 2 三黄瀉心湯<sup>さんおうしゃしんとう</sup>は、下痢しやすい人に向いている。
- 3 循環器の症状に使用される一般用医薬品は、体質の改善又は症状の緩和ではなく、高血圧などの疾患を治療する目的で用いられる。
- 4 ヘプロニカートは、ビタミンEと組み合わせて用いられる場合が多い。

### 問 7 8

下記の成分で示される医薬品（内用液剤）を購入、服用しようとする30歳の男性から相談を受けた。登録販売者が説明する上で必要な事項に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

#### 1日量の成分

|                |        |
|----------------|--------|
| リン酸ジヒドロコデイン    | 30mg   |
| 塩酸プロムヘキシン      | 12mg   |
| フマル酸クレマスチン     | 1.34mg |
| d/-塩酸メチルエフェドリン | 75mg   |
| ノスカピン          | 60mg   |
| 無水カフェイン        | 90mg   |

- 1 一定期間使用して症状の改善が見られない場合には、漫然と使用を継続せずに医療機関を受診するよう説明した。
- 2 本剤は塩酸プロムヘキシンを含有しており、眠気があらわれることがあるので、注意して乗物を運転するように説明した。
- 3 本剤はd/-塩酸メチルエフェドリンを含有しており、基礎疾患として糖尿病があると、血糖値を上昇させ、糖尿病を悪化させるおそれがあるため、糖尿病の有無について確認した。
- 4 本剤はリン酸ジヒドロコデインを含有しており、乱用事例が報告されているため、過量服用・長期連用をさけ、用法用量どおり服用するよう説明した。

## 【主な医薬品とその作用】

問 7 9

以下の生薬成分のうち、利尿作用のないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 モクツウ
- 2 サンキライ
- 3 キササゲ
- 4 ウワウルシ
- 5 カゴソウ

問 8 0

抗ヒスタミン薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 抗ヒスタミン成分により、ヒスタミンの働きが抑えられると眠気がなくなるため、乗物や機械類の運転操作をしても問題ない。
- 2 すべての抗ヒスタミン薬は母乳中に移行しないため、使用中でも授乳できる。
- 3 抗ヒスタミン薬の副作用としては、排尿困難や口渇がある。
- 4 抗ヒスタミン薬は、抗コリン作用を示さない。

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 8 1

鼻に用いる医薬品成分に関する以下の記述について、( )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

アドレナリン作動成分は、( ア )を刺激して鼻粘膜を通っている血管を( イ )させることにより、鼻粘膜の充血や腫れ<sup>は</sup>を和らげることを目的として、塩酸ナファゾリン、塩酸フェニレフリン等が用いられる。アドレナリン作動成分が配合された点鼻薬は、過度に使用されると鼻粘膜の血管が反応しなくなり、逆に血管が( ウ )して二次充血を招き、鼻づまりがひどくなりやすい。

|   | ア      | イ  | ウ  |
|---|--------|----|----|
| 1 | 交感神経系  | 収縮 | 拡張 |
| 2 | 交感神経系  | 拡張 | 収縮 |
| 3 | 副交感神経系 | 収縮 | 拡張 |
| 4 | 副交感神経系 | 拡張 | 収縮 |
| 5 | 体性神経系  | 収縮 | 拡張 |

### 問 8 2

医薬品の併用による相互作用に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア ヒマシ油と駆虫薬との併用は、駆虫成分が吸収されにくくなるため、併用しないよう注意する必要がある。

イ 塩酸セレギリンでの治療を受けている人は、塩酸プソイドエフェドリンとの併用により血圧が上昇するおそれがある。

ウ 大<sup>だい</sup>黄<sup>おう</sup>牡<sup>ぼたん</sup>丹<sup>びとう</sup>皮湯と麻<sup>まし</sup>子<sup>にん</sup>丸<sup>がん</sup>との併用は、激しい腹痛を伴う下痢等の副作用が起こりやすくなる。

エ ビサコジルは腸内細菌によって分解されて瀉<sup>しゃ</sup>下効果を示すため、生菌成分を配合された整腸薬が併用されると、作用が強くなる。

1 (ア、ウ)    2 (ア、エ)    3 (イ、ウ)    4 (イ、エ)

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 8 3

点眼薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 結膜や角膜の乾燥を防ぐことを目的として、アズレンスルホン酸ナトリウムが配合されている場合がある。
- 2 一般用医薬品の点眼薬には、緑内障の症状を改善できるものがある。
- 3 医師から処方されている点眼薬を使用している場合に、一般用医薬品の点眼薬を併用すると、治療中の疾患に悪影響を与える場合がある。
- 4 一度に何滴も点眼した方が、より早い効果が期待できる。

### 問 8 4

クロモグリク酸ナトリウムに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア クロモグリク酸ナトリウムは通常、抗ヒスタミン成分と組み合わせて配合される。  
イ アレルギー性でない結膜炎にも有効である。  
ウ 肥満細胞からのヒスタミン遊離を促進する作用がある。  
エ 点眼薬の配合成分として使用された場合であっても、まれに重篤な副作用としてアナフィラキシー様症状が起こることがある。

|   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 誤 | 誤 |
| 4 | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |
| 5 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 8 5

以下の外皮用薬のうち、殺菌消毒作用を示す成分として正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア リドカイン
- イ オキシドール
- ウ インドメタシン
- エ マーキュロクロム

- 1 (ア、ウ)    2 (ア、エ)    3 (イ、ウ)    4 (イ、エ)

### 問 8 6

創傷への対応に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 出血している時は、創傷部に清潔なガーゼやハンカチ等を当てて圧迫し、止血するが、この時、創傷部を心臓より低くして圧迫すると止血効果が高い。
- 2 火傷の場合は、できるだけ早く水道水などで熱傷部を冷やすことが重要である。
- 3 創傷部が汚れている時は、そのままの状態ですぐ創傷部表面を乾燥させるタイプの医薬品を使用すると、菌が繁殖しなくてよい。
- 4 創傷部に、殺菌消毒薬を繰り返し適用すれば、治癒を早めることができる。

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 8 7

主に総合感冒薬に使用される成分と代表的な副作用に関する以下の組み合わせについて、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

|   | 成分             | 代表的な副作用                    |
|---|----------------|----------------------------|
| 1 | イブプロフェン        | - 排尿困難                     |
| 2 | グリチルリチン酸二カリウム  | - 腎障害、無菌性髄膜炎 <sup>ずい</sup> |
| 3 | ヨウ化イソプロパミド     | - 下痢                       |
| 4 | マレイン酸クロルフェニラミン | - 眠気、口渇                    |
| 5 | リン酸コデイン        | - 偽アルドステロン症                |

### 問 8 8

以下の解熱鎮痛成分のうち、ピリン系成分に分類されるものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 アスピリン
- 2 エテンザミド
- 3 アセトアミノフェン
- 4 イブプロフェン
- 5 イソプロピルアンチピリン

## 【主な医薬品とその作用】

問 8 9

<sup>そのうろう</sup>歯槽膿漏薬に用いる配合成分とその作用に関する以下の組み合わせについて、正しいものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

|   | 配合成分          | 作用     |
|---|---------------|--------|
| ア | アラントイン        | - 止血   |
| イ | カルバゾクロム       | - 組織修復 |
| ウ | フィトナジオン       | - 止血   |
| エ | 銅クロロフィリンナトリウム | - 組織修復 |

1 (ア、イ)    2 (ア、ウ)    3 (イ、エ)    4 (ウ、エ)

問 9 0

<sup>せん</sup>白癬及び抗真菌成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア <sup>せん</sup>白癬は、<sup>かん</sup>にきび桿菌により引き起こされる。
- イ ピロールニトリンは、通常単独で用いられる抗真菌薬である。
- ウ <sup>せん</sup>爪白癬に対して適用がある一般用医薬品はない。
- エ しらくもは、小さな丸い病巣が胴や四肢に発生したものである。

|   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 5 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |



## 【主な医薬品とその作用】

### 問9 1

禁煙補助剤に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 禁煙補助剤（咀<sup>そしゃく</sup>嚼<sup>か</sup>剤）を嚙むことにより、口腔<sup>くわう</sup>内にニコチンが放出され、口腔<sup>くわう</sup>粘膜から吸収される。
- イ 禁煙補助剤を大量に使用すると、禁煙達成が速くなる。
- ウ 口内炎や喉<sup>のど</sup>の痛み・腫<sup>は</sup>れの症状がある場合に使用すると、口内・喉<sup>のど</sup>の刺激感等の症状が現れやすくなる。
- エ コーヒーを摂取した後に使用すると、血中のニコチン濃度が高くなる。

1（ア、ウ）    2（ア、エ）    3（イ、ウ）    4（イ、エ）

### 問9 2

禁煙補助剤に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 使用期間は3ヶ月を目途とし、6ヶ月を越える使用は避けることとされている。
- イ 口腔<sup>くわう</sup>内が酸性になるとニコチンの吸収が上昇するため、口腔<sup>くわう</sup>内を酸性にする食品を摂取した後はしばらくは使用を避けることとされている。
- ウ 非喫煙者では、一般にニコチンに対する耐性がないため、吐き気、めまい、腹痛などの症状が現れやすく、誤って使用されることのないよう、留意する必要がある。
- エ 妊婦では、胎児に影響を与える可能性があるため、使用を避ける必要がある。

|   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 正 | 正 | 誤 |
| 4 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |
| 5 | 正 | 誤 | 正 | 正 |

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 9 3

ビタミンに関する以下の記述について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 妊娠3ヶ月前から妊娠3ヶ月までの間に大量に摂取した妊婦から生まれた新生児において、先天異常の割合が上昇したとの報告があるため、過剰摂取に留意する必要がある。
- イ 脂質の代謝に関与し、皮膚や粘膜の機能を正常に保つために必要な栄養素である。
- ウ 体内の脂質を酸化から守り、細胞の活動を助ける栄養素であり、血流を改善させる作用もある。
- エ 体内の脂質を酸化から守る作用（抗酸化作用）を示し、メラニンの産生を抑える働きもあるとされる。

|   | ア     | イ                  | ウ     | エ     |
|---|-------|--------------------|-------|-------|
| 1 | ビタミンA | ビタミンB <sub>2</sub> | ビタミンE | ビタミンC |
| 2 | ビタミンD | ビタミンB <sub>6</sub> | ビタミンE | ビタミンA |
| 3 | ビタミンA | ビタミンB <sub>1</sub> | ビタミンC | ビタミンE |
| 4 | ビタミンD | ビタミンB <sub>2</sub> | ビタミンC | ビタミンA |
| 5 | ビタミンA | ビタミンB <sub>6</sub> | ビタミンD | ビタミンC |

### 問 9 4

医薬品成分とその適応に関する以下の組み合わせについて、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

|   | 医薬品成分       | 適応             |
|---|-------------|----------------|
| 1 | シアノコバラミン    | - 夜盲症          |
| 2 | トコフェロール     | - 末梢血管障害による肩こり |
| 3 | 酪酸リボフラビン    | - 口角炎          |
| 4 | アミノエチルスルホン酸 | - 肝臓機能の改善      |
| 5 | エルゴカルシフェロール | - 骨歯の発育不良      |

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 9 5

生薬とその作用に関する以下の組み合わせについて、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

|   | 生薬              | 作用                           |
|---|-----------------|------------------------------|
| 1 | ブシ（ハナトリカブトの塊根）  | - 抗菌                         |
| 2 | サンザシ（サンザシの偽果）   | - 抗炎症、鎮痛                     |
| 3 | キキョウ（キキョウの根）    | - 発汗、解熱、鎮痛、鎮 <sup>けい</sup> 痙 |
| 4 | ブクリョウ（マツホドの菌核）  | - 利尿、健胃、鎮静                   |
| 5 | レンギョウ（レンギョウの果実） | - 血液循環の改善                    |

### 問 9 6

漢方処方製剤に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 用法用量において適用年齢の下限が設けられていない場合であっても、生後3ヶ月未満の乳児には使用しないこととされている。
- イ 漢方処方製剤によっては、服用によりまれに病気の症状が進行するものもある。
- ウ 漢方処方製剤では、肝機能障害のような重篤な副作用は発生しない。
- エ 漢方処方製剤は、患者の証（体質及び症状）に合わせた選択をする必要がある。

|   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 誤 | 誤 |
| 3 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |
| 5 | 誤 | 正 | 正 | 正 |

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 9 7

以下の漢方処方製剤のうち、「元気がなく胃腸の働きが衰えて、疲れやすい人における虚弱<sup>けん</sup>体質、疲労倦怠の症状に適する」とされるものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 大<sup>だい</sup>黄<sup>おう</sup>甘<sup>かん</sup>草<sup>そう</sup>湯<sup>とう</sup>
- 2 小<sup>しょう</sup>青<sup>せい</sup>竜<sup>りゅう</sup>湯<sup>とう</sup>
- 3 小<sup>しょう</sup>建<sup>けん</sup>中<sup>ちゅう</sup>湯<sup>とう</sup>
- 4 補<sup>ほ</sup>中<sup>ちゅう</sup>益<sup>え</sup>気<sup>き</sup>湯<sup>とう</sup>
- 5 葛<sup>か</sup>根<sup>こん</sup>湯<sup>とう</sup>

### 問 9 8

消毒薬の誤用、事故に対する家庭での応急処置に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 誤って飲み込んでしまった場合は、速やかに多量の牛乳などを飲ませる。  
イ 誤って目に入れてしまった場合は、弱い流れの水で十分に洗うことにより、消毒薬を洗い流す。  
ウ 誤って皮膚に付着してしまった場合は、中和剤を付けた上で、流水で洗い流す。  
エ 誤って吸入し意識がない場合は、新鮮な空気がある場所へ運び出し、人工呼吸などを行う。

|   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 5 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |

## 【主な医薬品とその作用】

### 問 9 9

衛生害虫に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア ハエは赤痢菌、コレラ菌、O-157大腸菌等の病原菌を媒介するが、ポリオウイルスなどのウイルスは媒介しない。
- イ ハエの防除の基本はウジの防除であり、通常、有機リン系殺虫剤成分が配合された殺虫剤が用いられる。
- ウ シラミの防除に用いられるフェノトリンには、シラミの刺咬による<sup>かゆ</sup>痒みや<sup>は</sup>腫れ等の症状を和らげる作用がある。
- エ 燻蒸処理を行う場合、ゴキブリの卵は医薬品の成分が浸透しない殻で覆われているため、殺虫効果を示さない。

1 (ア、ウ)    2 (ア、エ)    3 (イ、ウ)    4 (イ、エ)

### 問 1 0 0

妊娠検査薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 一般的な妊娠検査薬は、月経予定日が過ぎてから1週間以内の検査が推奨されている。
- 2 採取した尿を放置すると、雑菌の繁殖等によって尿中の成分の分解が進むが、検査結果に影響を与えない。
- 3 検体としては就寝直前の尿を採取することが向いている。
- 4 経口避妊薬や更年期障害治療薬を服用している人では、妊娠していなくても陽性になる場合がある。

## 【薬事関係法規・制度】

この試験問題においての「薬事法」は、薬事法の一部を改正する法律（平成18年法律第69号）による改正後の薬事法とします。

問101

薬事法に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 店舗販売業又は配置販売業の許可を受けた者は、一般の生活者に対して一般用医薬品を販売することができる。
- イ 医薬品の製造販売業者が、その製造した医薬品を薬局開設者や医薬品の販売業者へ販売を行う場合にあっては、改めて販売業の許可を受ける必要がある。
- ウ 店舗販売業者は、薬剤師が従事していれば医療関係者に対して医療用医薬品の販売を行うことができる。
- エ 店舗販売業者は、店舗による販売又は授与以外の方法により医薬品を販売し、授与し、又はその販売若しくは授与の目的で医薬品を貯蔵し、若しくは陳列してはならない。

1（ア、イ）    2（ア、エ）    3（イ、ウ）    4（ウ、エ）

## 【薬事関係法規・制度】

問102

薬局に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 薬局は、改めて医薬品の販売業の許可を受けなくても、医薬品の販売を行うことが認められている。
- イ 薬局では、すべての一般用医薬品を取り扱うことができるので、薬局に勤務している登録販売者は、すべての一般用医薬品について購入者等への情報提供や相談対応ができる。
- ウ 薬局の管理者は、保健衛生上支障を生ずるおそれがないよう、その薬局に勤務するその他の従業者等を監督するなど、その薬局の業務につき、必要な注意をしなければならない。
- エ 薬局開設者が、配置による販売又は授与の方法で医薬品を販売しようとする場合には、別途、配置販売業の許可を受ける必要がある。

|   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 4 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 5 | 正 | 誤 | 正 | 正 |

【薬事関係法規・制度】

問103

医薬品の販売業の許可基準のうち、都道府県知事が許可を与えないことができる場合に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 薬事法第75条第1項の規定により、許可を取り消され、取り消しの日から3年を経過していない者
- イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった後、3年を経過していない者
- ウ 麻薬、大麻、あへん、若しくは覚せい剤の中毒者
- エ 薬事法、麻薬及び向精神薬取締法、毒物及び劇物取締法その他薬事に関する法令又はこれに基づく処分に違反し、その違反行為があった日から2年を経過していない者

|   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2 | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 正 | 正 | 誤 |
| 4 | 正 | 正 | 正 | 正 |
| 5 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |

問104

店舗販売業に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 店舗販売業の開設者は、薬剤師又は登録販売者でなければならない。
- イ 店舗販売業者は、一般用医薬品のうち、第一類医薬品については、薬剤師により販売又は授与させなければならない。
- ウ 店舗販売業においては、薬剤師が従事していれば調剤を行うことができる。
- エ 店舗販売業の許可は、店舗ごとに、その店舗の所在地の都道府県知事（その店舗の所在地が保健所を設置する市又は特別区の区域にある場合は市長又は区長）が与える。

|   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 4 | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 5 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |



## 【薬事関係法規・制度】

### 問105

配置販売業に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 配置販売業の許可は、配置しようとする区域をその区域に含む都道府県ごとに、その都道府県知事が与える。
- イ 配置販売業者又はその配置員は、配置販売業の許可を受けた都道府県知事が発行する身分証明書の交付を受け、かつ、これを携帯しなければ、医薬品の配置販売に従事してはならない。
- ウ 配置販売業者又はその配置員は、医薬品の配置販売に従事しようとするときは、その氏名、配置販売に従事しようとする区域その他厚生労働省令で定める事項を、あらかじめ、配置販売に従事しようとする区域の都道府県知事に届け出なければならない。
- エ 配置販売業者は、一般用医薬品のうち、第三類医薬品を特定の購入者の求めに応じて分割販売することができる。

1 (ア、イ)    2 (ア、ウ)    3 (イ、エ)    4 (ウ、エ)

### 問106

配置販売業に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 配置販売業者は、一般用医薬品のうち経年変化が起こりにくいことその他の厚生労働大臣の定める基準に適合するもの以外の医薬品を販売してはならない。
- イ 配置販売業者は、その業務に係る都道府県の区域を、自ら管理し、又は都道府県の区域内において配置販売に従事する配置員のうちから指定したものに管理させなければならない。
- ウ 都道府県の区域を管理する区域管理者は、薬剤師でなければならない。
- エ 区域管理者が、保健衛生上支障を生ずるおそれがないように、その区域の業務につき、配置販売業者に対し必要な意見を述べた場合は、配置販売業者はその旨を都道府県知事に届けなければならない。

1 (ア、イ)    2 (ア、エ)    3 (イ、ウ)    4 (ウ、エ)

## 【薬事関係法規・制度】

問107

医薬品に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 日本薬局方に収められている物は、すべて医薬品である。
- 2 人又は動物の身体の構造又は機能に影響を及ぼすことが目的とされている物であって、機械器具、歯科材料、医療用品及び衛生用品でないもの（医薬部外品及び化粧品を除く。）は医薬品である。
- 3 人の身体に直接使用されない殺虫剤や器具用消毒薬は、医薬品に含まれない。
- 4 薬局や医薬品の販売業において、医薬品と併せて、食品、医薬部外品、化粧品等の販売が行われる場合には、医薬品と他の物品を区別して貯蔵又は陳列することが求められる。

問108

昭和46年6月1日付け厚生省薬務局長通知「医薬品の範囲に関する基準」に関する以下の記述について、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 成分本質（原材料）が、専ら医薬品として使用される成分本質を含むものは、原則として医薬品に該当する。
- イ 特定保健用食品は、身体の生理学的機能等に影響を与える保健機能成分を含む食品として個別に表示が許可されたものであり、医薬品ではない。
- ウ 錠剤、カプセル剤、丸剤、散剤等の形状は、食品である旨が明記されていてもすべて医薬品とみなされる。
- エ 医薬品の成分本質が含有または配合されている旨が標榜・表示<sup>ぼう</sup>されていても、その製品から、実際に成分本質が検出されない場合は医薬品に該当しない。

- 1（ア、イ）    2（ア、エ）    3（イ、ウ）    4（ウ、エ）

## 【薬事関係法規・制度】

### 問109

一般用医薬品のリスク区分及び情報提供に関する以下の記述について、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 新しく承認された一般用医薬品は、一般用医薬品としての市販経験が少なく、より慎重に取り扱われる必要があるため、第一類医薬品に分類される。
- 2 購入者から相談があったが、第三類医薬品だったため、適正な使用のための必要な情報を提供しなかった。
- 3 第三類医薬品に分類されている医薬品について、日常生活に支障を来す程度の副作用を生じるおそれがあることが明らかとなった場合には、第一類医薬品又は第二類医薬品に分類が変更されることがある。
- 4 第一類医薬品を販売する際に、購入者から説明はいらないという申し出があったので、情報提供を行わなかった。

### 問110

以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 登録販売者は、第一類医薬品を販売する店舗には勤務することができない。
- 2 店舗販売業者は、客の求めに応じるため、あらかじめ医薬品を分包しておくことができる。
- 3 店舗販売業は、店舗に薬局の名称を付してはならない。
- 4 医薬品であれば、特定保健用食品の厚生労働省許可マークを使用できる。

## 【薬事関係法規・制度】

### 問 1 1 1

以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 食品とは、医薬品及び医薬部外品以外のすべての飲食物をいう。
- 2 化粧品の成分本質（原材料）については、原則として医薬品の有効成分を配合してはならないとされている。
- 3 医薬品を製造販売するには、原則として品目ごとに承認を得る必要がある。
- 4 化粧品を販売する場合には、医薬品のような販売業の許可は必要なく、都道府県知事に届出を行うこととされている。

### 問 1 1 2

一般用医薬品に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 配置販売業者は、薬剤師を常時雇用していれば、一般用医薬品以外の医薬品についても販売を認められている。
- イ 一般用医薬品は、年齢に応じて服用量（使用量）が定められているなど、それを使用する一般の生活者による判断の余地は少ない。
- ウ 人体に直接使用されない検査薬は、すべて一般用医薬品に分類されている。
- エ 一般用医薬品は、医薬品のうち、その効能及び効果において人体に対する作用が著しくないものであって、薬剤師その他の医薬関係者から提供された情報に基づく需要者の選択により使用されることが目的とされているものである。

- 1（ア、イ）    2（ア、ウ）    3（イ、エ）    4（ウ、エ）

## 【薬事関係法規・制度】

### 問 1 1 3

毒薬又は劇薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 業務上毒薬又は劇薬を取り扱う者は、それらを他の物と区分して貯蔵、陳列しなければならない、また、毒薬については、かぎを施さなければならない。
- イ 適正な譲渡手続を行えば、一般用医薬品である劇薬を14歳未満の者に販売する行為は、認められている。
- ウ 毒薬又は劇薬については、店舗管理者が薬剤師である店舗販売業者は、開封して販売ができる。
- エ 毒薬については、直接の容器又は被包に、白地に赤枠をもって当該医薬品の品名及び「毒」の文字が赤字で記載されていなければならない。

1 (ア、イ)      2 (ア、ウ)      3 (イ、エ)      4 (ウ、エ)

### 問 1 1 4

毒薬又は劇薬の譲渡手続に関する以下の記述について、(      )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

毒薬又は劇薬を一般の生活者に対し販売又は譲渡する際は、譲り受ける者から品名、(      ア      )、使用目的、(      イ      )、譲受人の氏名、住所、(      ウ      )が記載され、署名又は記名押印のある書類の交付を受けなければならない。

|   | ア  | イ     | ウ  |
|---|----|-------|----|
| 1 | 成分 | 使用期限  | 職業 |
| 2 | 成分 | 譲渡年月日 | 年齢 |
| 3 | 数量 | 使用期限  | 年齢 |
| 4 | 数量 | 譲渡年月日 | 職業 |
| 5 | 成分 | 使用期限  | 年齢 |

## 【薬事関係法規・制度】

問 1 1 5

一般用医薬品のリスク区分に応じた情報の提供に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 第一類医薬品を販売する場合には、医薬品の販売、授与に従事する薬剤師をして、原則として厚生労働省令で定める事項を記載した書面を用いて必要な情報を提供しなければならない。
- イ 第三類医薬品を販売する場合には、医薬品の販売、授与に従事する薬剤師、登録販売者又はその他の従業員をして、その適正な使用のため必要な情報を提供するよう努めなければならない。
- ウ 第二類医薬品を販売する場合には、医薬品の販売、授与に従事する薬剤師又は登録販売者をして、その適正な使用のため必要な情報を提供するよう努めなければならない。
- エ 第二類医薬品を販売後に購入者から相談があった場合には、その応答義務は薬剤師に限られる。

1 (ア、イ)    2 (ア、ウ)    3 (イ、エ)    4 (ウ、エ)

問 1 1 6

医薬品の直接の容器又は直接の被包に記載が義務付けられていないものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 製造販売業者の氏名又は名称及び住所
- 2 名称
- 3 製造年月日
- 4 製造番号又は製造記号
- 5 重量、容量又は個数等の内容量

## 【薬事関係法規・制度】

### 問 1 1 7

薬事法に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 厚生労働大臣、都道府県知事、保健所を設置する市の市長及び特別区の区長は、その職員のうちから薬事監視員を命じ、監視指導を行っている。
- イ 都道府県知事は、配置販売業の配置員が、その業務に関し、薬事に関する法令又はこれに基づく処分に違反する行為があったときは、その配置販売業者に対して、期間を定めてその配置員による配置販売の業務の停止を命ずることができる。
- ウ 医薬品等の製造販売業者等が、その医薬品等の使用によって保健衛生上の危害が発生し、又は拡大するおそれがあることを知ったときは、これを防止するために廃棄、回収、販売の停止、情報の提供その他必要な措置を講じなければならない。
- エ 厚生労働大臣又は都道府県知事は、医薬品を業務上取り扱う者（薬局開設者、医薬品の販売業者を含む。）に対し、不正表示医薬品、不良医薬品、無承認無許可医薬品等について、廃棄、回収その他公衆衛生上の危険の発生を防止するに足りる措置を採るべきことを命ずることができる。

|   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 正 | 誤 |
| 2 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 3 | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 正 |
| 5 | 正 | 正 | 正 | 正 |

### 問 1 1 8

以下の記述のうち、薬事法第54条に規定される医薬品の添付文書又はその容器若しくは被包への記載禁止事項に該当しないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 当該医薬品に関し虚偽又は誤解を招くおそれのある事項
- 2 承認を受けていない効能又は効果
- 3 保健衛生上危険がある用法、用量又は使用期間
- 4 薬物乱用を助長するおそれがあるとして、厚生労働大臣が指定する医薬品にあっては、「習慣性がある」旨の文字

## 【薬事関係法規・制度】

問 1 1 9

医薬品の広告に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 承認前の医薬品については、承認を受けていない旨を表示すれば、製造方法や効能効果に関する広告ができる。
- イ 医薬品の有効性又は安全性について、それが確実であることを保証するような表現がなされた広告は、明示的・暗示的であるとを問わず虚偽又は誇大な広告とみなされる。
- ウ 一般用医薬品で、同じ有効成分を含有する医療用医薬品がある場合には、医療用医薬品の効能効果をそのまま標榜<sup>ほう</sup>することが規定されている。
- エ がん、糖尿病、心臓病等の医師による診断・治療によらなければ一般に治癒<sup>ゆ</sup>が期待できない疾患について、自己治療が可能であるかのような広告は認められていない。

1 (ア、ウ)    2 (ア、エ)    3 (イ、ウ)    4 (イ、エ)

問 1 2 0

薬事法第 5 6 条の規定に関する以下の記述のうち、販売が禁止されている医薬品として誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 日本薬局方に収められている医薬品であって、その性状又は品質が日本薬局方で定める基準に適合しないもの
- 2 習慣性があるものとして、厚生労働大臣が指定する医薬品
- 3 異物が混入し、又は付着している医薬品
- 4 着色のみを目的として、厚生労働省令で定めるタール色素以外のタール色素が使用されている医薬品